

第2回 新潟駅南口広場再編検討委員会 新たなモビリティを含めた多様な交通モード

令和6年3月

新たな交通モードについて

1. シェアリング需要の高まり

- 近年、「所有から共有」への意識変化にあわせて、交通サービスに関してもシェアリングサービス市場拡大。
- 新潟駅に導入済みのシェアサイクルや、カーシェアリング、電動キックボード等の新たなモビリティでも需要が伸びている。

■シェアリングの概念/種類

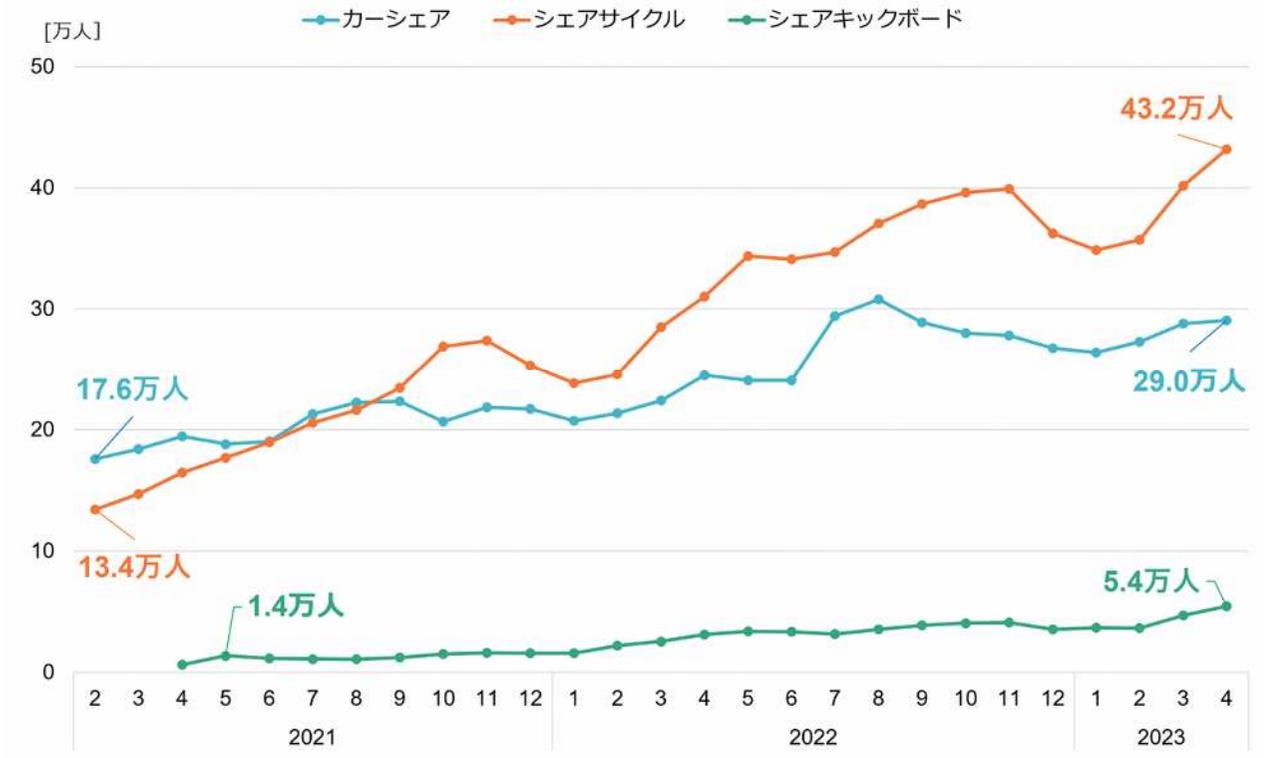
【シェアリングエコノミー】

- モノや場所、スキルや時間などを個人間で共有するビジネス形態のことを差す。
- 市場規模は拡大傾向にあり、将来更なる拡大が想定。



出典) シェアリングエコノミー関連調査2021年度調査結果 (市場規模、経済波及効果)

シェアモビリティの月間利用者数推移 (15-69歳) *シェアキックボードは2021年4月からサービス開始



データ: スマートフォンアプリ利用データ
出典) インテージ「知るギャラリー」(2023年5月)

新たな交通モードについて

2. シェアサイクルの現状

- シェアサイクルの実施都市数は毎年増加傾向であり、令和2年度末には170都市で本格導入されている。
- 新潟駅においても、まちなかの回遊性向上や公共交通の補完を目的としたシェアサイクルサービス『「にいがた2 km」シェアサイクル』を令和4年9月から導入している。

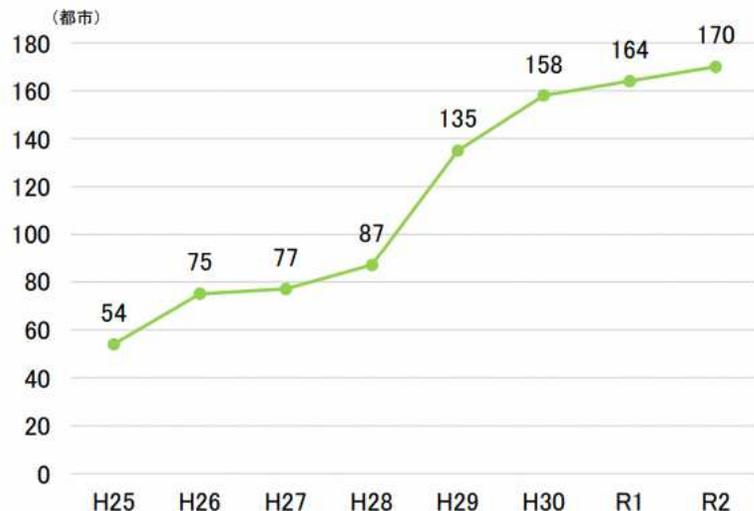
■シェアサイクルの概要

【シェアサイクル】

- シェアサイクルとは、相互利用可能な複数のサイクルポートが設置された、面的な都市交通に供されるシステムのことをさす。(国土交通省都市局による地方公共団体に対する調査における定義)
※但し、シェアサイクルとして導入されているものの一部には、地方公共団体の解釈により上記に該当しないものがある

【シェアサイクルの実施都市数の推移】

- シェアサイクルの本格導入都市数は令和2年度末時点で170都市
- 本格導入都市数は毎年増加傾向にあるが、一方で撤退した都市も存在



【シェアサイクルの社会実験実施都市数・検討中の都市数】

・社会実験の都市数	46都市
・検討中の都市数	50都市

※令和4年3月末時点、回答のあった都市および国土交通省調べにより実施が確認された都市の集計

出典) 都市交通の中でのシェアサイクルのこれから～確定版～ (国土交通省 都市局 街路交通施設課)

■導入事例 (新潟駅周辺)

- 新潟市では、「にいがた2 km」エリアを中心に、「まちなかの回遊性向上」と「公共交通の補完」を主目的に、まちなかの活性化に資する取り組みとして、「にいがた2 kmシェアサイクル」を導入
- 令和4年9月よりサービスを開始

【にいがた2 kmシェアサイクルの概要】

運営事業者	にいがたシェアバイク共同体 ※(一社)にいがたレンタサイクル エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 エヌシーイー株式会社	
事業規模	電動アシスト付き自転車：170台 整備ポート数：38カ所 (仮設ポート含む) 【令和5年10月26日時点】	
料金体系	1回利用	165円/30分 (日当たり上限額 2,200円)
	月額会員	2,200円/月 (最初の30分0円、以降165円/30分)
	法人会員	スタンダードプラン 2,200円/月 (最初の30分0円、以降165円/30分) プレミアムプラン 4,400円/月 (最初の90分0円、以降165円/30分) ※システム手数料1,100円、ICカード発行手数料550円の初期費用が別途発生



新潟駅南口のポート



撮影) 2024年2月

新たな交通モードについて

3. カーシェアリングの現状

- 1台の自動車を複数の会員が共同で利用するカーシェアリングサービスは、年々導入箇所や導入台数が増加。
- 新潟駅周辺でも事業が展開されているほか、新潟市内では、公共交通の利用促進のため、パーク&ライドと組み合わせた取組も推進中

■カーシェアリングの概要

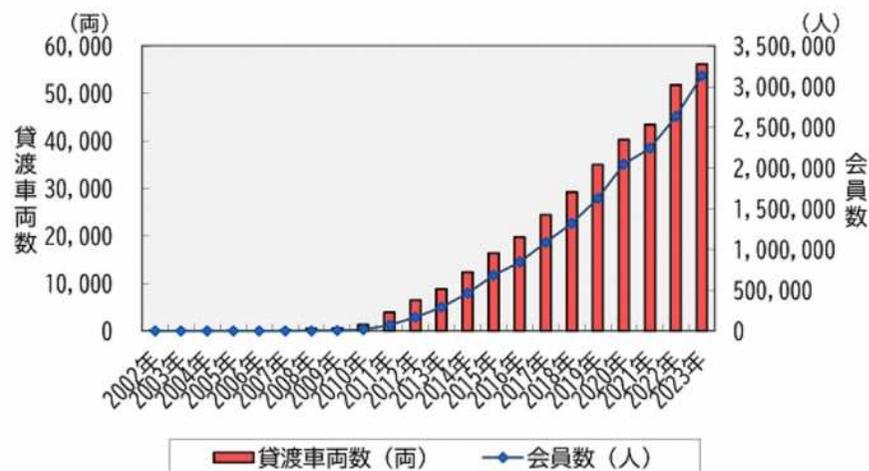
【カーシェアリング】

- カーシェアリングとは、1台の自動車を複数の会員が共同で利用する自動車の新しい利用形態
- 当初は仲間同士等で自然発生的に行われていたものが、組織的に運営されるようになった
- カーシェアリングは自動車保有に伴う費用負担や手間の軽減に加え、自動車による環境負荷を低減する等の効果があると報告されている(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団HPより)

【日本でのカーシェアリング車両台数と会員数の推移】

- 2023年3月には、日本のカーシェアリングのデポ数は、22,786箇所、貸渡車両数は56,178台、会員数は3,130,801人となっており、年々増加の傾向

わが国のカーシェアリング車両台数と会員数の推移



出典) 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 調査結果

■導入事例 (類似駅前広場での整備)

【新潟駅周辺】

- 新潟駅周辺では、タイムズ、オリックスが事業を展開中
- タイムズのカーシェアステーションは、CoCoLo新潟や駅周辺のコインパーキング等に設置されている



CoCoLo新潟のカーシェアステーション



新潟駅南米山1丁目のカーシェアステーション

撮影) 2024年2月

【その他新潟市内での取り組み】

- 市内では、公共交通の利用促進のため、パーク&ライドと組み合わせた取組も推進されており、巻駅および新津駅では、鉄道 (JR) 利用と交通ICカード等の利用により、割引が適用される社会実験を実施中

新たな交通モードについて

4. 新たなモビリティ（電動キックボード等）の現状

- ラストワンマイルの移動手段としての活用が期待される電動キックボードは、都内や大都市圏を中心にシェアリングサービスが拡大中
- 近年では、地方都市である宇都宮市でも実証実験が実施されており、導入に向けた検証が行われている

■ 電動キックボードのシェアリングサービスの概要

- 電動キックボードのシェアリングサービスは、都内や大阪、横浜などの大都市を中心に展開が拡大中
- 通勤・通学や観光の際のラストワンマイルの移動手段としての活用が期待されている



出典) SWALLOW合同会社「ZERO9 Lite」



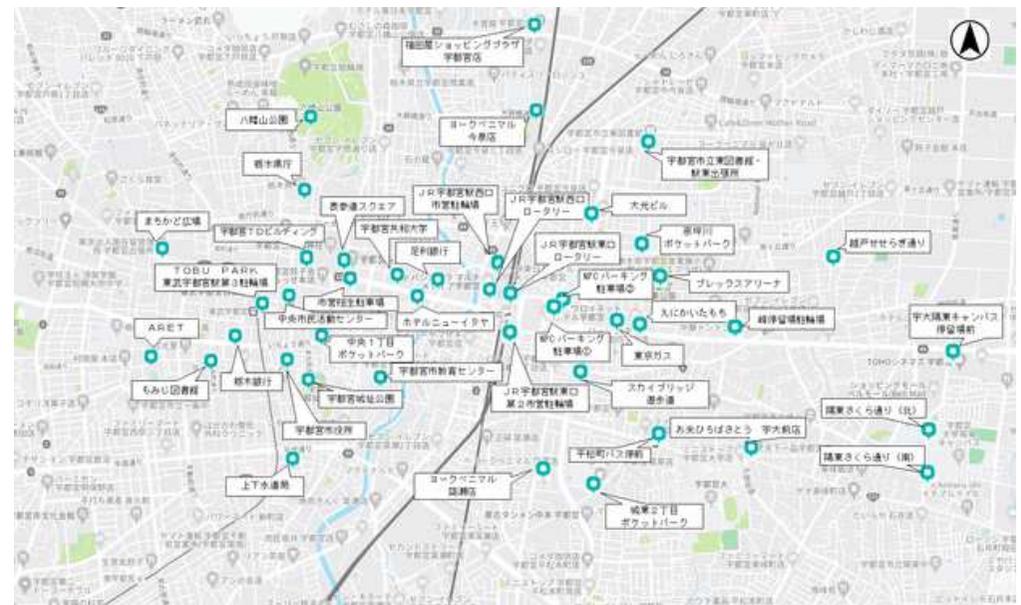
出典) 株式会社Luup「電動キックボード」

■ 導入事例（類似駅前広場での整備）

【宇都宮市】

- 宇都宮市では、鉄道駅やバス、LRTなどの公共交通を降りてから目的地までのラストマイルの交通手段の充実に向けて、電動キックボード（及び自転車）のシェアリングモビリティの導入実証実験を実施中

委託先：株式会社Luup
 実施期間：令和5年4月1日（土）～令和6年3月31日（日）
 利用料金：都度払い料金：30分165円（1回あたり）
 月額料金：2,000円（ひと月あたり）
 ※毎回始めの30分は無料、以降30分毎に165円
 貸出・返却場所：43か所（令和5年8月22日時点）



出典) 宇都宮市「シェアリングモビリティ」貸出・返却場所

新たな交通モードについて

4. 新たなモビリティ（電動キックボード等）の現状

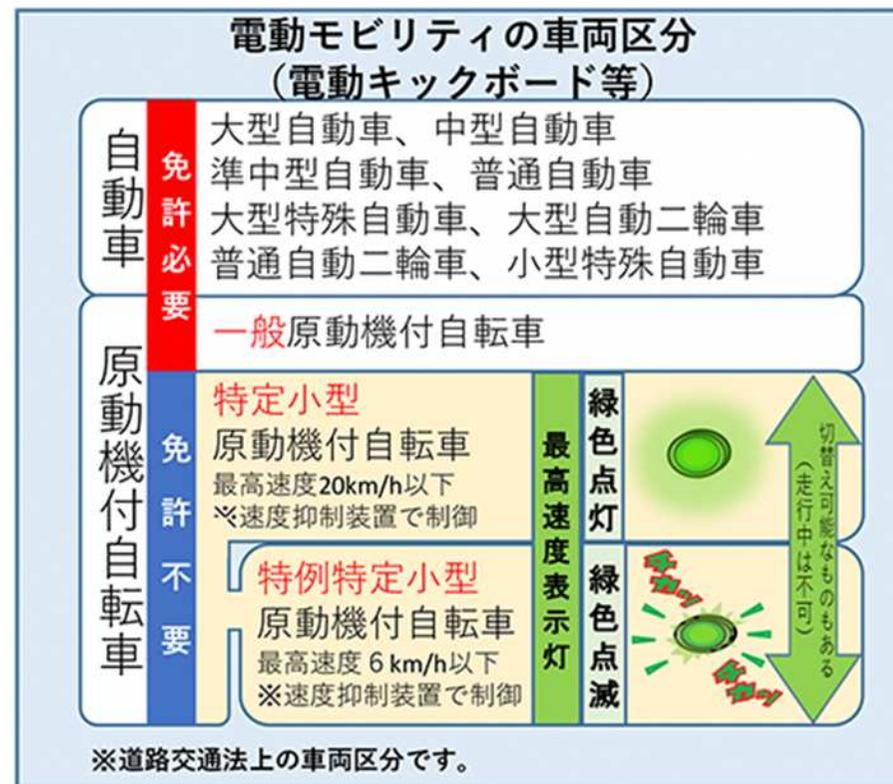
- 令和5年7月1日からは、電動モビリティのうち一定の基準を満たすものについては、「特定小型原動機付自転車」と位置づけられ、運転免許不要等の新しい交通ルールが適用。
- 法改正に伴い、電動キックボード等の更なる普及が想定される。

■電動キックボードの通行方法について（道路交通法改正R5.7）

電動キックボード 道路交通法の改正前・後の主な変更点

	改正前	改正後
車種	原動機付自転車	特定小型原動機付自転車
運転免許	原付免許または普通二輪免許	不要
年齢制限	運転免許に準じる	16歳以上
ナンバープレート	必須	必須
ヘルメット	必須	任意(着用を推奨)
走行場所	車道のみ	車道、自動車レーン、条件付きで歩道
法定速度	時速30km以下	時速20km以下
自賠責保険	必須	必須
自動車税	軽自動車税	軽自動車税

出典) 一般社団法人 日本自動車会議所「電動キックボード、7月から全国統一ルール適用 16歳以上で免許不要」(2023年1月)
<https://www.aba-j.or.jp/info/industry/18943/>



出典) 警視庁「特定小型原動機付自転車（電動キックボード等）に関する交通ルール等について」
 改正道路交通法の一部施行について
https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/jikoboshi/electric_mobility/electric_kickboard.html

新たな交通モードについて

5. その他の移動サービスの導入事例

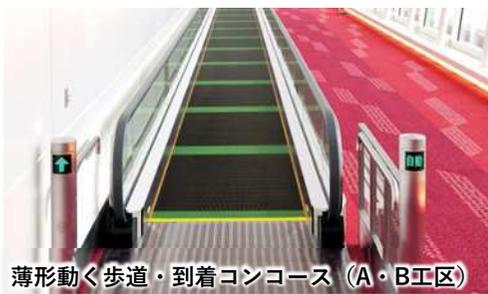
- その他、施設内や地域内での移動サービスとして、主にバリアフリー等の観点から、「動く歩道」や「電動車いす」等のサービスも導入事例がある。

■動く歩道の事例

- 動く歩道は、全国の空港や大規模鉄道駅、大型施設などで導入されており、大きな荷物を持つ人や高齢者の移動の負担軽減や、移動時間の短縮が期待できる

【羽田空港】

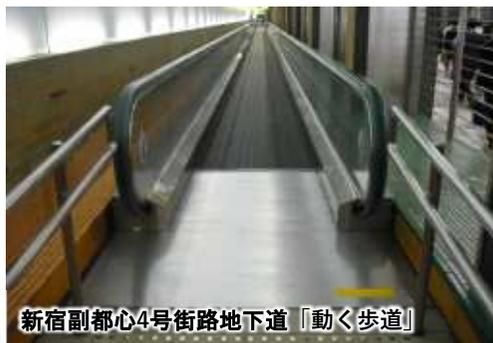
- 第1ターミナル～第2ターミナル間の地下連絡通路（約400m）や、出発コンコースや到着コンコース等で導入されている



出典) 東芝エレベータ株式会社「機能性とエンターテインメント性を兼ね備えた新時代の国際線ターミナル」

【新宿】

- 新宿駅西口の地下道（新宿副都心4号街路地下道、飛行者専用地下道）に動く歩道が設置されている



出典) 東京都建設局 道路施設について「新宿副都心エリア」

■シェア型電動車いすの事例

- 電動車いすの導入により、高齢者や歩行が困難な方の移動・活動の機会の創出等が期待されている
- 羽田空港や成田空港では、自動運転の電動車いす（WHILL株式会社）のサービスが本格導入されており、保安検査場から搭乗口までの移動支援に活用されている
- 近年では、空港の他、スタジアムやテーマパーク、商業施設などでサービスが導入されており、2023年9月16日からは、広大な敷地を有する国営平城宮跡歴史公園（奈良市）での電動車いすの無料貸し出しサービスが始まっている



出典) WHILL株式会社 <プレスリリース>
J A 三井リースがWHILL株式会社へ資本参加 (2021年 6月)



出典) WHILL株式会社 <プレスリリース>
国営平城宮跡歴史公園で近距離モビリティWHILLの貸出サービス導入 (2023年 9月)

新たな交通モードについて

5. その他の移動サービスの導入事例

- シェア型電動車いすについて、新潟市においても期間限定の社会実験として実施。
- 多くの利用者が高評価であったことや今後有料で運用された場合も利用意向があることを確認できた一方で、雨天時の対処法等についても必要性が確認。

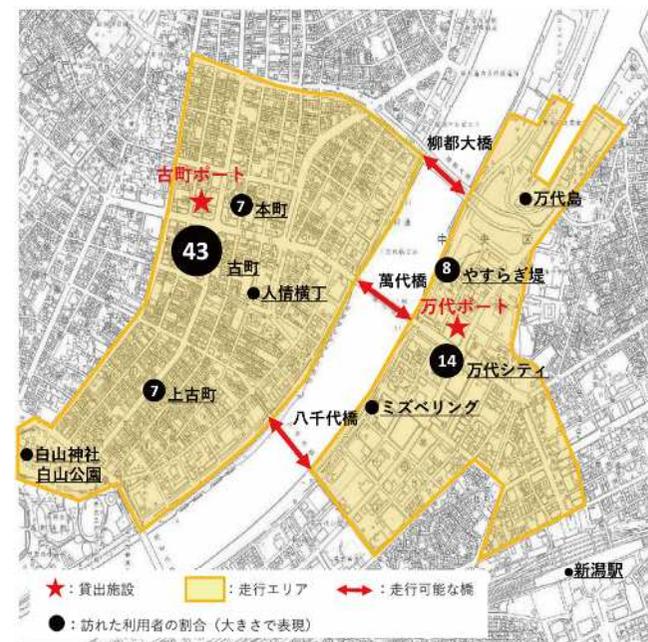
■令和4年度 近距離モビリティWHILL社会実験

1. 実験概要

目的	古町エリアと万代エリアに貸出場所を設置し、「WHILL」へシェアリングサービスを取り入れ複数拠点間の移動と乗り捨てを可能とすることで、導入に向けた利用動態を通じて、ステーション位置や運行システムの検証する
実施主体	新潟市都市政策部 都市交通政策課
共催	WHILL(株)日本事業部、東京海上日動火災保険(株)新潟支店※ ※新潟市との「地域創生や市民の暮らしの満足度向上に関する包括連携協定」に基づく共催
協力	新潟古町まちづくり(株) [古町エリア] 新潟日报社 [万代エリア]
実施エリア	古町、万代
実験期間	令和4年10月6日～10月31日 雨天時は貸出中止、毎週水曜日は万代エリアのみで貸出（古町は休館日のため）
貸出時間	10時～16時30分 （最終受付15時30分、最大3時間の利用まで）

2. 利用エリア

【実際に訪れた場所】 N=33



WHILL社会実験チラシ



社会実験風景



3. 検証結果

- WHILL自体に興味を持って利用した人が多い
- 車両の操作性や乗り心地に関して多くの利用者が高評価であった
- 乗り捨てサービスの需要+他エリアへの事業拡大を望む意見を確認
- 約7割の利用者が今後有料で運用された場合も利用意向があることを確認
- 雨天時の対処法の必要性を確認
- WHILLの具体的な利用プランを提示詳細なマップの必要性を確認
- 操作方法の説明や申し込みの簡略化の必要性を確認